

問1 長野県において、スキー場や高原、温泉といった観光資源が豊富に存在し、多くの観光客を集めている理由を説明したものと
して、地理的な背景を踏まえた最も適切な記述を選びなさい。 (2017年 岩手県公立入試 類似)

1. 中部地方に位置し、日本アルプスなどの標高の高い山々が連なる地形条件と、冬の豊富な積雪、そして火山活動による恩恵があるため。
2. 県全域がなだらかな平野部で構成されており、冷涼な気候を利用した大規模なショッピングセンターの建設が容易であったため。
3. 日本海に面した長い海岸線を持っており、対馬海流の影響で一年を通じて温暖な気候が続き、沿岸部の開発が進んでいるため。
4. 都心からの距離が近いこと、山岳地帯をすべて切り開いてゴルフ場や遊園地などの人工的な娯楽施設を県内に集中させたため。

問2 山地から平地へと川が流れ出る場所に形成された、扇を広げたような地形である扇状地について、その中央部の緩やかな斜面で果樹栽培が盛んに行われている理由として、最も適切な説明を選びなさい。 (2018年 群馬県公立入試 類似)

1. 砂や石が多く堆積しており、水はけが良い土壌が果物の育成に適しているため
2. 標高が低く周囲から水が集まりやすいため、常に湿潤な環境を好む果物に適しているため
3. 地盤が非常に硬く、大型の農業機械を導入した大規模な平地農業に適しているため
4. 年間を通して霧が発生しやすく、直射日光を避ける必要がある果物の栽培に適しているため

問3 日本の工業地帯・地域別の統計において、全国の工業生産額の約27.1%を占め、第1位となっている地域の特徴として最も適当なものはどれか。 (2015年 大分県公立入試 類似)

1. 自動車産業の強力な集積を背景に、輸送用機械の製造品出荷額が非常に多い中京工業地帯を含んでいる。
2. 印刷・出版業が集積し、東京都を中心とした巨大な消費地に隣接する京浜工業地帯を中心としている。
3. 石油化学コンビナートが沿岸部に形成され、化学工業の割合が高い瀬戸内工業地域を中心としている。
4. 古くから繊維工業や金属工業が発展し、現在は中小の機械工場が密集する阪神工業地帯を含んでいる。

問4 中部地方の政治・経済の中核を担い、愛知県の県庁所在地となっている都市はどこか。この都市の周辺では中京工業地帯の中心として、自動車工業をはじめとする製造業が高度に発達している。 (2026年 富山公立入試 類似)

1. 名古屋市
2. 静岡市
3. 岐阜市
4. 津市

問5 ある地方の農業統計において、耕地面積が約45,000ヘクタールであるのに対し、そのうち田の面積が40,000ヘクタールを超えており、田の割合が8割を大きく上回っていることが示されています。このような特徴を持つ「あ」にあてはまる県として、最も適切なものはどれですか。 (2017年 千葉県公立入試 類似)

1. 新潟県
2. 長野県
3. 静岡県
4. 宮崎県

問6 日本の主な工業地帯・地域における製造品出荷額の割合を示した統計において、機械工業が全体の約7割という突出した高さを示し、特に輸送用機械の製造が中心となっている工業地域はどこですか。 (2023年 香川公立入試 類似)

1. 東海工業地域
2. 瀬戸内工業地域
3. 北九州工業地域
4. 阪神工業地帯

問7 北陸地方において、冬季の降水量が夏季の降水量を大きく上回る要因について説明したものとして、最も適切な内容を選びなさい。 (2020年 神奈川県公立入試 類似)

1. 冬に吹く湿った北西の季節風が、日本海上で水蒸気を補給し、山脈にぶつかって上昇気流を発生させるため。
2. 冬に吹く湿った南東の季節風が、太平洋側から吹き込み、奥羽山脈を越える際に大量の雪を降らせるため。
3. 日本海側を流れる寒流の影響により、冬季に大気不安定になり、低気圧が停滞しやすくなるため。
4. 年間を通じて吹く偏西風が、冬になると勢力を強め、大陸の乾燥した空気を直接日本列島へ運ぶため。

問8 北陸新幹線が福井駅から軽井沢駅の間を走行する際、車窓からは中部地方特有の険しい山岳景観を望むことができます。この路線の北側に広がる飛騨山脈が、周辺地域の生活や産業に与えている影響や特徴を説明したものとして、背景や位置関係が最も適切なものはどれですか。 (2024年 福井公立入試 類似)

1. 飛騨山脈は大規模な砂防ダムや水力発電所が建設されるなど、急峻な地形を利用した開発が行われてきた。
2. 飛騨山脈は標高が低く平坦な土地が多いため、新幹線の沿線には広大な工業団地が形成されている。
3. 飛騨山脈は太平洋側に位置しているため、冬には乾燥した季節風を遮り、北陸地方に晴天をもたらす要因となっている。
4. 飛騨山脈は四国地方と中国地方の境界をなしており、古くから交通の要所としてトンネル整備が進んでいた。

答え合わせ・解説

問1	答え 1 中部地方に位置し、日本アルプスなどの標高の高い山々が連なる地形条件と、冬の豊富な積雪、そして火山活動による恩恵があるため。	長野県の観光は、その険しい地形と気候条件に深く結びついています。標高の高い山々は夏場の避暑地（高原）や登山客を惹きつけ、冬の季節風がもたらす雪はスキー場などのスポーツ施設を支えています。また、山岳地帯に付随する火山活動は、県内各地に豊富な温泉地を生み出す要因となっており、これらが一体となって長野県の観光魅力を形成しています。
問2	答え 1 砂や石が多く堆積しており、水はけが良い土壌が果物の育成に適しているため	扇状地は川が運んできた砂礫（砂や石）が堆積してできた地形であるため、地表に降った雨や水が地下へ浸透しやすく、非常に水はけが良いという性質を持っています。水田にするには水持ちが悪く不向きですが、根が腐るのを防ぎ適度な乾燥を好むブドウやモモなどの果樹栽培には極めて適した条件を備えています。このため、土地利用として果樹園が優先的に配置されます。
問3	答え 1 自動車産業の強力な集積を背景に、輸送用機械の製造品出荷額が非常に多い中京工業地帯を含んでいる。	中部地方の太平洋側に位置する中京工業地帯は、愛知県の豊田市などを中心に世界的な自動車産業の集積地となっており、日本の工業生産額において長年第1位を維持しています。特に輸送用機械の占める割合が極めて高いことが、全体の生産額を押し上げる大きな要因となっています。
問4	答え 1 名古屋市	愛知県の県庁所在地である名古屋市は、中部地方で最大の人口を抱える大都市です。中京工業地帯の核として、周辺の豊田市などととも世界的な自動車産業の集積地を形成しており、経済的に重要な役割を果たしています。
問5	答え 1 新潟県	耕地面積に占める田の割合が80%を超えるのは、北陸地方の県に顕著な特徴です。新潟県は日本最大の米の生産地であり、広大な越後平野を中心に大規模な稲作が行われています。選択肢の中で北陸地方に属し、かつ耕地面積に占める田の割合が極めて高い条件を満たすのは新潟県です。一方、長野県や静岡県、宮崎県などは、地形や気候を活かした果樹栽培や施設園芸も盛んであり、新潟県ほど田の割合が突出して高くはありません。
問6	答え 1 東海工業地域	東海工業地域は、中京工業地帯と隣接していることから、自動車部品などの輸送用機械の製造が極めて活発です。出荷額の内訳において機械工業が占める割合が非常に高いことが統計上の大きな特徴です。一方、瀬戸内工業地域は化学や鉄鋼の割合が高く、阪神工業地帯は金属や機械のバランスがとれていますが、機械の割合は東海ほど極端ではありません。
問7	答え 1 冬に吹く湿った北西の季節風が、日本海上で水蒸気を補給し、山脈にぶつかって上昇気流を発生させるため。	日本海側の気候では、季節風が最も重要な要因となります。冬、シベリア高気圧から吹き出す冷たく乾燥した北西の季節風は、日本海を渡る際に暖流の対馬海流から大量の水蒸気を取り込みます。この湿った空気が日本列島の脊梁山脈（烏海山や越後山脈など）にぶつかって上昇することで雲が発達し、日本海側に雪や雨をもたらします。一方、山を越えた後の風は乾燥するため、太平洋側では冬に晴天が多くなります。
問8	答え 1 飛騨山脈は大規模な砂防ダムや水力発電所が建設されるなど、急峻な地形を利用した開発が行われてきた。	飛騨山脈（北アルプス）は3000メートル級の山々が連なる急峻な地形であるため、冬の積雪が多く、急流を利用した水力発電が盛んです。また、土砂災害を防ぐための砂防事業も古くから行われてきました。北陸新幹線のルートはこの険しい山塊の北端付近を通っており、トンネル技術の向上によって安定した輸送が可能になりました。他の選択肢については、飛騨山脈が日本海側に近く、冬の湿った季節風を受けて北陸に豪雪をもたらす要因であることや、場所が中部地方であることを考慮すると不適切です。